

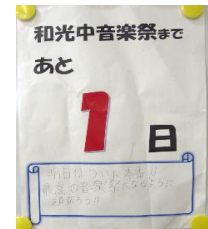


ひかり

令和5年10月21日
第7号



<体育館ステージ上に設置された「音楽祭テーマ」>



玄関掲示：生徒会による日めくりカレンダー

和光中全員の力で成功へと導いた財田町体育大会からちょうど1か月が過ぎました。体育大会の後、保護者の方から2年団通信に「体育大会、感動しました。すごく頑張っていました。」「リレーにクイズにダンス。一生懸命に取り組む姿が頼もしく感じました。」「縦割りのチーム編成での活動、同学年だけでなく他の学年の子の話もよく聞きます。1年から3年までみんな協力しての活動は、和光中ならではの活動だと思うので、今後も続けてほしいです。」と、温かいメッセージが寄せられました。

そして、今日はいよいよ本番のステージです。本年度、県教育センターの事業：「学びの支援隊」として本校に来てくださっている先生から、昨日、各チームの合唱についてご指導をいただきました。あるチームが1回歌い終わった瞬間、先生が座っていた椅子から飛び上がるようにしてステージへ駆け寄り、「上手くなったなあ良くなった！」とその成長ぶりを喜んでくださいました。努力は、自分自身の成長につながるだけでなく、その成長を見守る人の心に大きな喜びを生むのだということを実感させられた瞬間でした。



和光中音楽祭の前には、すでに大きな「挑戦の舞台」がありました。中間テスト二日目。テストが終わってから一息つく間もなく1年生は、三観地区教育文化祭が開催される観音寺ハイスタッフホールへと向かいました。出場校11校のうち合唱を披露したのは7校。そのうち6校が校内合唱コンクール優勝クラスや選抜された合唱団で、1年生の出場は和光中学校だけでした。歌い始める前に各校の生徒代表がマイクを持って自分たちのチームや曲について紹介します。「僕たちは、校内合唱コンクールを勝ち抜いて、今このステージに立っています。」と、堂々と「勝者のスピーチ」をした後、3年生の力強い声がホール全体に響きました。さて、我らが和光中1年生は、そんなプレッシャーの中でどのような歌声を披露したのでしょうか。緊張のあまり小さく縮こまってしまったのでしょうか。とんでもありません。まっすぐ前を見てさっそうと入場し、舞台上で美しいハーモニーを響かせました。同日夕方主催者の一人からもらったメールには、「和光の今日の合唱はとてもよかったです。1年生なのにしっかりハーモニーがありました！態度も大変素晴らしかったです(キラキラ光る絵文字)。合唱コンクールも期待大だと感じました。」とありました。今日は「全校合唱」でその時歌った「サザンカ」を先輩たちと一緒に歌います。

昨日、休み時間にすれ違った2年生に「合唱頑張ってくれよ。1年生は、地区の音楽祭、屋島宿泊学習と立て続けにあって、さすがに疲れとる。先輩、しっかり支えてやって！」と声をかけた時、「はい」の返事やうなずいて「わかった」の気持ちを返してくれた人が何人もいました。学年の壁を越え、「チーム合唱」が生んだなかまとの絆を感じさせてくれました。



〔10/12 地区教育文化祭音楽祭〕